



# 第一礼拝次第

メッセージ：郭永東牧師

前奏	5 4 0	会衆
主の祈り		会衆
ブレイズ	「主イエスはぶどうの木」 「注ぎたまえ主よ」	会衆
聖書朗読	民数記 30：2-3 (旧約聖書 p266)	司会
祈禱		司会
賛美	新生 2 1	会衆
メッセージ	「教会の約束②」	牧師
祈禱		牧師
賛美	新生 6	会衆
献金		司会
報告		司会
頌栄	新生 6 7 2b	会衆
祝		牧師



# 第二礼拝次第

メッセージ：渡真利彦文牧師

メッセージ：「最初の弟子シモン」  
 聖書：ルカ 5：1-11 (新約聖書 p.109)  
 プレイス：「御手の中で」「神の国とその義を」  
 賛美：3 1 2、4 6 1



# ファミリー礼拝

メッセージ：渡真利千佳子姉

聖書：マタイ 5：9 「平和を実現する人々」  
 メッセージ：「心の底から新たにされて」

## <巻頭言>

「平和を実現する人々は、幸いである」  
(マタイ 5：9)

牧師 渡真利彦文

“8月15日正午、天皇の放送があるから、日本国民は皆聞くようにと通達がありました。私はラジオの前で、かたずをのんで「忍びがたきを忍び、耐えがたきを耐えて国の再建を計るようにな」ということばを涙と共に聞きました。それから「戦争は終わった！」と周りの人と喜びの声をあげました。”と、ある戦争体験者の話を読んだことがあります。

8月は記念する月と言ってよいでしょう。77年前の8月6日は広島に、8月9日は長崎に原爆が投下されました。そして8月15日は敗戦を迎えたのです。私たち日本の国では、いずれも大事な戦争反対への記念の日となるのです。

しかし、日本は世界で唯一の被爆国でありながら核保有に対して反対の意思を表していません。日本は世界に戦争の悲惨さを訴える使命を持っていますし、平和憲法を堅持しています。そして世界唯一の被爆国でその悲惨さを経験しています。さらに沖縄には平和の礎を建立し、二度と戦争の過ちを犯さないことを誓い沖縄戦で失われた人々をどの国の人々も分け隔てなく銘記しています。

今、平和や友好が叫ばれていますが、その根本にあるのはひとりひとりの繋がりであること、そして特にアジアの人たちに私たち日本人が対するとき、戦争の問題、加害の問題を避けて通ることはできません。一人の日本人として、人間として、クリスチャンとしてどうあるべきかを問われるこの夏を、今年も迎えています。